

文部科学省委託

「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業」

社会的なニーズに対応した
歯科衛生士および歯科技工士への
再教育プログラム

第5期（平成21年度下半期）募集要項

注意：

本事業受講者への連絡は電子メールで行います。

本募集要項に記載の内容は、予告なく変更することがあります。

正確な情報は本事業のホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/dent/cohc/manabi/> をご覧ください。

●歯科衛生士コース

科目、内容、対象者、及び募集定員

①コミュニケーショントレーニング …………… 20名

週1回（1回当たり3時間）×8回（1単位）

内容：リレーションづくり、かかわり技法、マイクロカウンセリングなどを系統的に実習し、コミュニケーションによって援助的に働きかける知識・技能・態度を習得する。

対象：コミュニケーションスキルの向上を目指している歯科衛生士

注意事項：講義とコミュニケーション実習とグループワーク主体のプログラムです。

②産業歯科保健 …………… 20名

週1回（1回当たり3時間）×8回（1単位）

内容：産業歯科保健の基礎に加え、ヘルスプロモーション、地域歯科保健、衛生行政、口腔疾患活動性試験（口腔検査）、歯科保健医療における歯科衛生士の役割などを学ぶ。

対象：地域歯科保健、産業歯科保健、ヘルスプロモーションに取り組もうとしている歯科衛生士

注意事項：講義と実習とグループワーク主体のプログラムです。

③患者ひとりひとりに合った医療の実践と問題発見・解決技法 …………… 20名

週1回（1回当たり3時間）×15回（1単位）

内容：問題を発見し、定式化し、解決のために情報を収集し、吟味し、応用する方法を習得する。さらに臨床疫学の基礎、問題志向型記録、論文抄読（正しく読む方法）、教育プログラム開発の方法を学ぶ。

対象：情報を検索し、吟味し、自分で考えて判断する技法を身につけたい歯科衛生士

注意事項：講義とグループワーク主体のプログラムです。

歯科衛生士コース出願資格

歯科衛生士コースに志願できる者は、次のすべてに該当する者とする。

歯科衛生士の免許を有する者。

個人用のメールアドレスを所有し、メールの授受ができる者。

（携帯電話、Hotmail以外のメールアドレスを所有していること）

選択したプログラムの4分の3以上出席可能なこと。

歯科衛生士コース日程表

コミュニケーショントレーニング

下記の**木曜日** 19時～22時（全8回）

産業歯科保健

下記の**水曜日** 18時半～21時半（全8回）

問題発見・解決技法

下記の**月曜日** 18時半～21時半（全15回）

2009 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2010 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2009 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2010 年 2 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2009 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●歯科技工士コース

科目、内容、対象者、及び募集定員

①ポーセレン焼付けブリッジの製作法 …………… 5名

週1回（1回当たり3時間）×15回（1単位）

内容：前歯部のポーセレン焼付クラウンと、臼歯部のポーセレン焼付けブリッジの製作方法を習得する。

対象：スキルアップを目指す若手の歯科技工士

注意事項：実習に必要な貴金属は購入していただきます。（実習後にお返しします）

②Co-Cr 鑄造床フレームの製作法 …………… 5名

週1回（1回当たり3時間）×15回（1単位）

内容：直接法による Co-Cr 鑄造床維持装置と、間接法による Co-Cr 鑄造床フレームの製作方法を習得する。

対象：スキルアップを目指す若手の歯科技工士

注意事項：実習に必要な材料の一部を購入していただく可能性があります。（実習後にお返しします）

歯科技工士コース出願資格

歯科技工士コースに志願できる者は、次のすべてに該当する者とする。

歯科技工士の免許を有する者。

個人用のメールアドレスを所有し、メールの授受ができる者。

（携帯電話、Hotmail 以外のメールアドレスを所有していること）

選択したプログラムの4分の3以上出席可能なこと。

歯科技工士コース日程表

ポーセレン焼付けブリッジの製作法：

下記の**火曜日** 18時～21時（全15回）

Co-Cr 鑄造床フレームの製作法：

下記の**木曜日** 18時～21時（全15回）

2009 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2010 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2009 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2010 年 2 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2009 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●選抜方法

書類選考（※出願書類の「志望動機と修了後の展望」によって選考）

●出願の日程および方法

出願期間

歯科衛生士コース 平成21年10月 5日（月）～10月21日（水）必着

歯科技工士コース 平成21年10月 5日（月）～10月21日（水）必着

出願方法

FAXまたは郵送（郵送の場合には簡易書留で出願期間内に必着で送付すること）

選考結果発表

歯科衛生士コース 平成21年10月23日（金）

定員に空きがあれば開講日前日まで出願を受け付けます

歯科技工士コース 平成21年10月23日（金）

定員に空きがあれば開講日前日まで出願を受け付けます

受講手続日

各プログラムの初回受講日

●本事業全体（平成19年10月～平成22年3月）の趣旨

医学・歯学の急速な進歩と相まって、患者ひとりひとりに合った高度な保健・医療の提供が社会から求められている。そこで、就労中あるいは再就労を希望する歯科衛生士と就業歯科技工士に最新のエビデンスに基づいたスキル向上を図る再教育プログラムを提供し、就業歯科衛生士および就業歯科技工士のスキルアップと離職の抑制を図り、離職中の歯科衛生士には再就労の促進を図る。

●本事業（平成19年10月～平成22年3月）の内容等

歯科衛生士免許保持者および歯科技工士免許保持者に対して最新のエビデンスに基づいたスキル向上を図る教育プログラムを提供し、患者ひとりひとりに合った高度な保健・医療を提供できる能力を付与する。対象は就業中あるいは再就労を希望する歯科衛生士と就業歯科技工士で、昨今の医療の急激な変化に対応する科目横断的教育カリキュラムを設定する。また、教育効果を高めるため、インターネットを介した遠隔教育（e-learning）を利用できる環境を提供する。

●具体的内容及び方法

就労中あるいは再就労を希望する歯科衛生士と就業歯科技工士に問題解決型教育を行い、単なる知識・技術の習得だけでなく、自学自習の態度を形成させる。具体的な学習項目からは、既に修得している知識や技術は省き、学科目横断的な以下のような複数のプログラムを設ける。

[歯科衛生士コース]

歯科衛生士コースは以下の6プログラムを設ける。

- ①コミュニケーショントレーニング（カウンセリング技法など）
- ②産業歯科保健（検診システムの事業展開など）
- ③スケーリング・ルートプレーニングのスキルアップ
- ④高度な歯科治療（インプラントなど）を施された患者さんの口腔ケア法
- ⑤有病者・要介護者の口腔ケア法と後期高齢者介護予防法
- ⑥患者ひとりひとりに合った医療の実践と問題発見・解決技法、POS、正しいEBMの理解と実践
（なお、平成20年度上半期は③～⑤のプログラムを実施する）

教育プログラムの学習量（時間数）と募集人数は以下の通りである。

①～④のそれぞれ、

週1回（1回当たり3時間）×8回（講義4回、実習4回）（1単位）

各20名

⑤⑥それぞれ、

週1回（1回当たり3時間）×15回（実習・演習15回）（1単位）

各20名

また、上記①②④～⑥について講義のビデオ・オン・デマンド発信を行う。

さらにレポート・試験・アンケートなどを、必要に応じてインターネットを介した遠隔教育として実施し、受講者支援を行う。

[歯科技工士コース]

歯科技工士コースは以下の4プログラムを設ける。

- ①ポーセレン焼付けブリッジの製作法
- ②Co-Cr 铸造床フレームの製作法
- ③インプラントの上部構造の製作法
- ④オールセラミックスブリッジの製作法
（なお平成20年度上半期は③④のプログラムを実施する）

教育プログラムの学習量（時間数）と募集人数は以下のとおりである。

①～④のすべてで、

週1回（1回当たり3時間）×15回（実習15回）（1単位）各5名

また、上記①～④について必要に応じて実習のビデオ・オン・デマンド発信を行い受講者の支援を行う。

●本事業の実施体制

東京医科歯科大学歯学部附属口腔保健教育研究センター：

事業実施総括、カリキュラム編成・運用、講義・実習の実施

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科：

歯科衛生士コースのための講義室・実習室等の施設の提供と講義・実習の実施

本学歯学部附属歯科技工士学校：

歯科技工士コースのための講義室・実習室等の施設の提供と講義・実習の実施

社団法人日本歯科衛生士会：

歯科衛生士コースの広報

本プログラム修了者への生涯研修単位の認定

財団法人ライオン歯科衛生研究所：

歯科衛生士コースの産業歯科保健に関する講義と見学実習の受け入れ

●プログラム修了者に対する証明方法

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科および歯学部附属歯科技工士学校における単位取得要件に準拠し本学歯学部長名で修了認定を行い、各コースの修了認定証を交付する。

日本歯科衛生士会生涯研修の単位取得認定は同会の取得認定要件に準拠する。

●本プログラムに関する問い合わせ先

東京医科歯科大学歯学部附属口腔保健教育研究センター

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 FAX 03-5803-4561

メール manabi.cohc@tmd.ac.jp ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/dent/cohc/manabi/>

